

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

## □ 事業内容

### ひらの子育て支援事業

0歳～未就学児の子どもと保護者を対象とし、親と子が気軽に集まって交流できるように開催している「親子ひろば」と、面談等で臨時的に使用するプレイルームにて、子どもたちが自由に遊べる木のおもちゃと、その整理棚として整備した。

【事業費】383千円（うち譲与税383千円）

【実績】おもちゃ

整理棚 他6点

## □ 事業スキーム

公募型プロポーザル事業

## □ 工夫・留意した点

- ・0歳～未就学児が、木製のおもちゃに触れ、自由に遊べるようにした。
- ・親に対し、国産の安心安全な木材で作られていることをアピールし、区民における木材製品の利用促進、森林や林業に関する理解促進に寄与するものにした。

## □ 基礎データ

|                     |                    |                      |                  |
|---------------------|--------------------|----------------------|------------------|
| ①令和4年度譲与額：310,620千円 |                    | ②私有林人工林面積（※1）：0.00ha |                  |
| ③林野率（※1）：0.00%      | ④人口（※2）：2,752,412人 |                      | ⑤林業就業者数（※2）：157人 |

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

